施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

収納網戸

もくじ

1.安全のために必ず守ってください・・・・・・・・・・1
2.各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3.使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3-1 網戸の収納方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3-2 網戸コーナー框の操作方法・・・・・・・・・・・5
3-3 網戸本体の取外しと取付け ・・・・・・・・・・・6
3-4 網戸調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3-5 製品のお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
4.お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
5.修理を依頼する前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
6.修理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

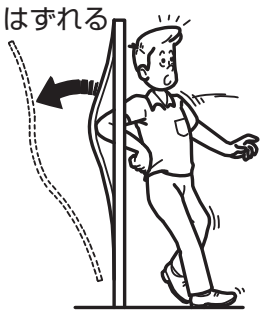
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

UE083_201101A

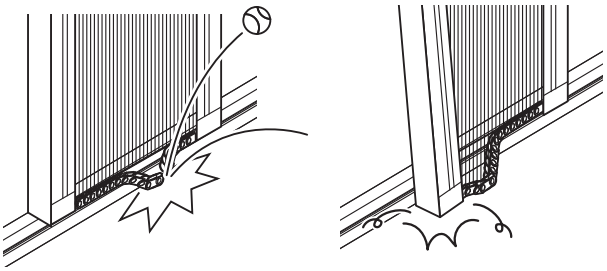
1　安全のために必ず守ってください

⚠注 意



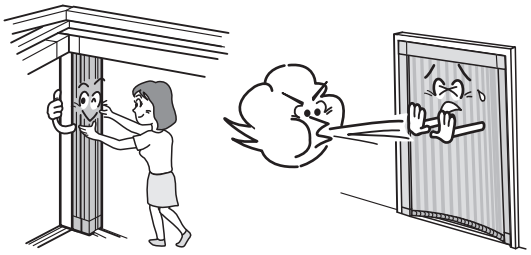
●網戸に寄りかかったり、網戸を押したりしないでください。網戸が急にはずれたり、網戸が破損してケガをするおそれがあります。

⚠注 意



●キャタピラや下レールに強い衝撃をあたえないでください。キャタピラがはずれ網戸パネルが破損してケガをするおそれがあります。

⚠注 意

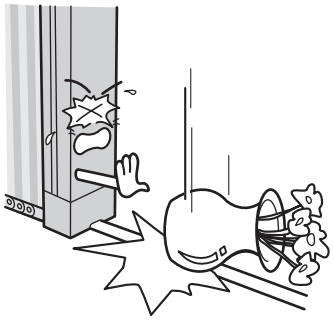


●網戸が脱落してケガをするおそれがありますので、下記の事項をお守りください。
・網戸を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。
・風速10m以上の強風時には、使用しないでください。

お願い

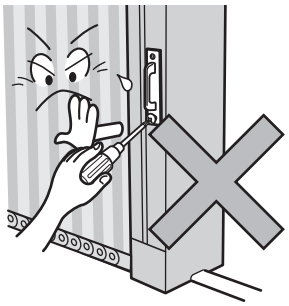
●夜間は網戸が見えにくくなります。ぶつからないようにご注意ください。

お願い



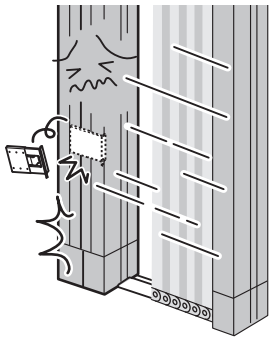
●レールには衝撃を与えたり硬い物を当てないでください。変形・破損の原因になります。

お願い



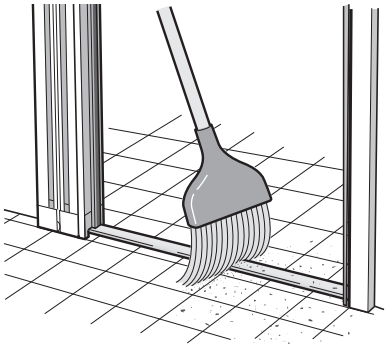
●スライドバーに把手や錠をネジ止めしないでください。ネジがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。

お願い



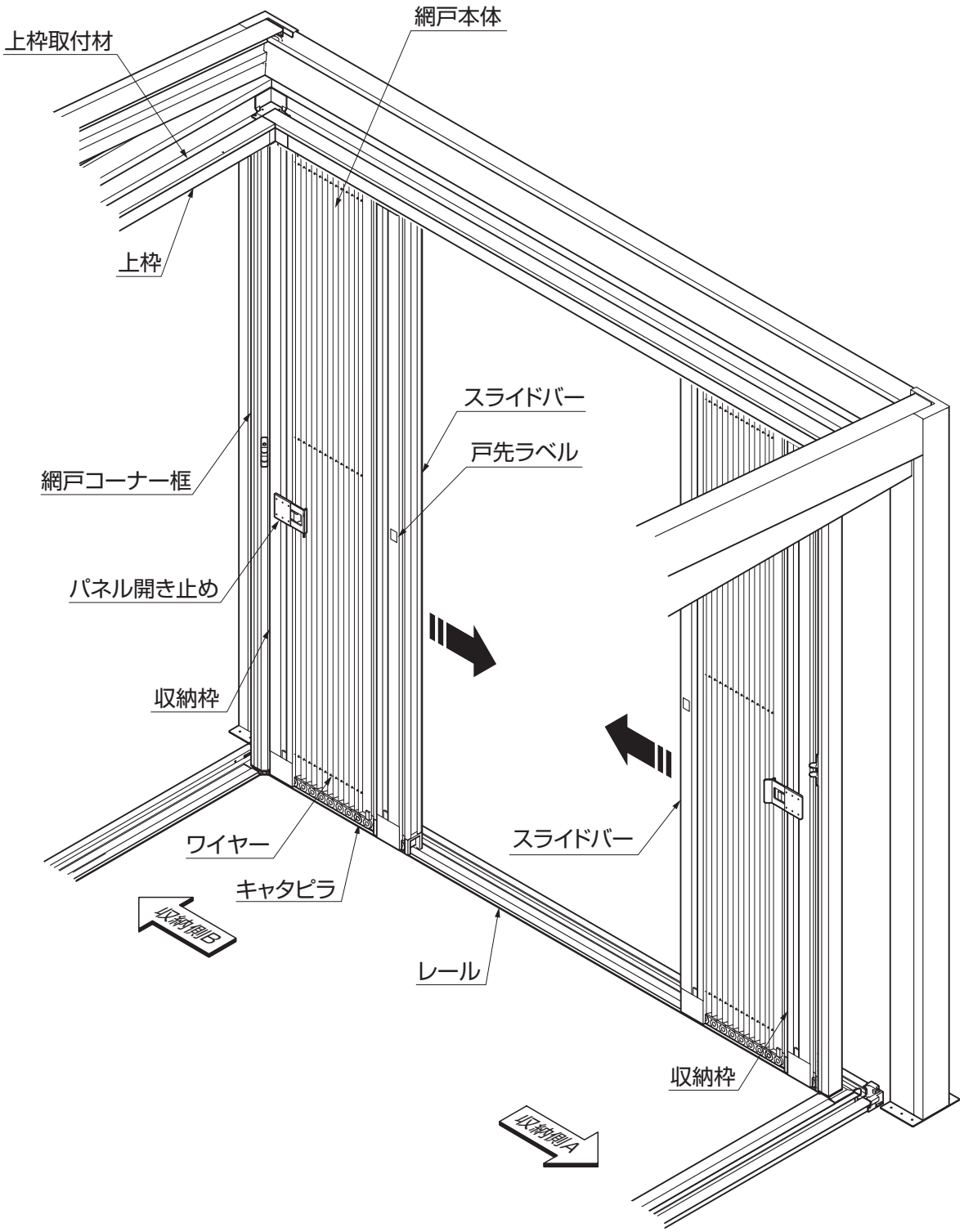
●網戸の収納は静かに行なってください。勢いよく動かすとパネル開き止めが破損するおそれがあります。

お願い



●レールおよびレールのまわりの小石、砂、ほこり、泥などのよごれはこまめに清掃してください。
汚れがたまると部品の摩耗や破損によってスムーズな開閉ができなくなります。

2　各部の名称

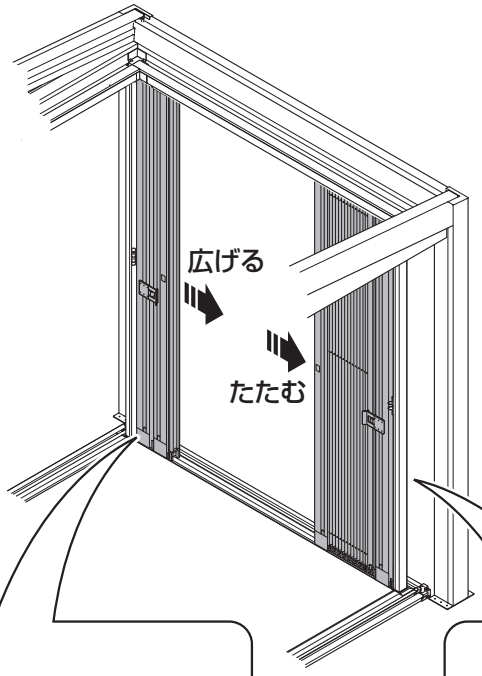


補 足

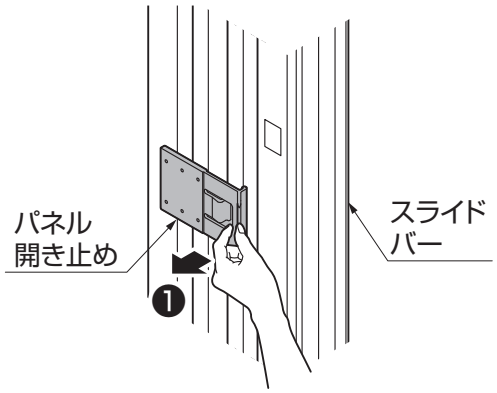
●図は自然浴家族ジーマの場合を示します。

3　使用方法

3 - 1　網戸の収納方法



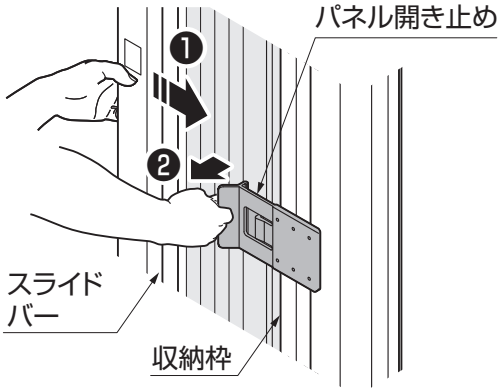
(1)網戸を広げる



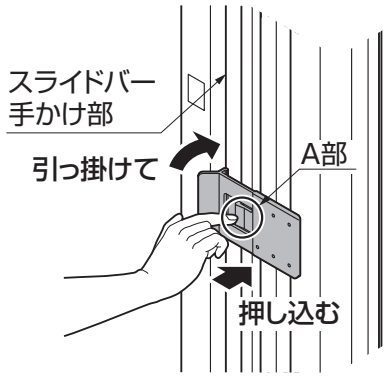
①パネル開き止めの引っ掛かり部分をスライドバーから外してください。

②スライドバーの中央の手かけ部を持って網戸を広げてください。

(2)網戸をたたむ



①スライドバーを収納枠に引き寄せてください。
②パネル開き止めの引っ掛かり部分を手前に引っ張ってください。

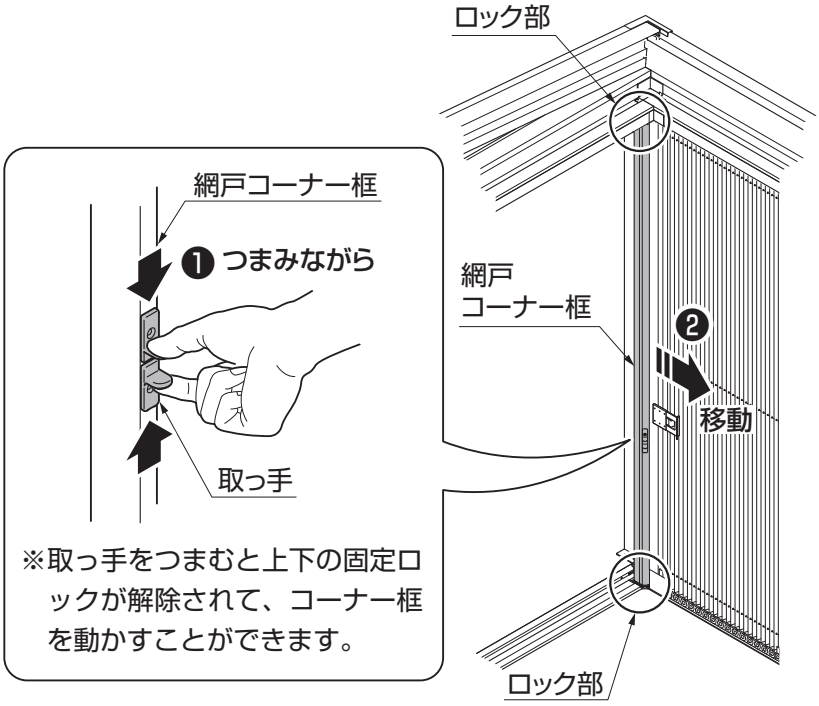


③パネル開き止めの引っ掛かり部分をスライドバーの手かけ部に引っ掛け、A部を押し込んでください。

3 - 2 網戸コーナー框の操作方法 ※自然浴家族ジーマの場合です。

補 足

●自然浴家族ジーマ本体の折戸パネルをコーナー部でスムーズに移動するために、網戸コーナー框を一時的に正面中央方向に移動することができます。



※取っ手をつまむと上下の固定ロックが解除されて、コーナー框を動かすことができます。

(1)網戸コーナー框を移動する

お 願 い

●網戸は広げたままにしてください。

①網戸コーナー框の2つの取っ手を同時につまんでください。
②そのまま、網戸コーナー框を間口方向へ700mmほど移動させてください。

(2)網戸コーナー框を元の位置に戻す

①網戸コーナー框の2つの取っ手を同時につまみながら、コーナー部へ移動させてください。
②元の位置に戻ったら取っ手を離し、網戸コーナー框が動かないことを確認してください。

3-3 網戸本体の取外しと取付け

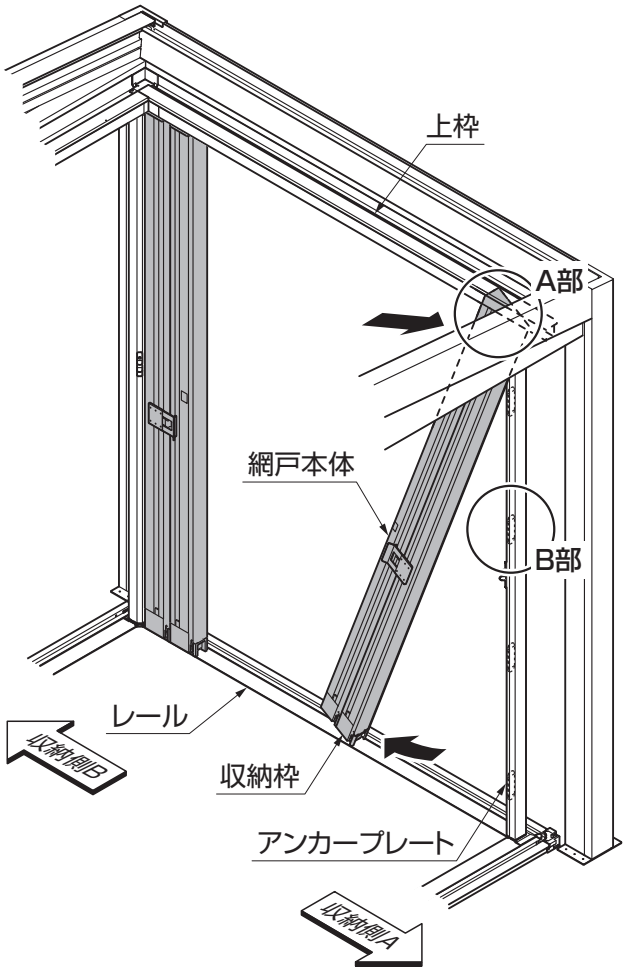


図3-1

(1)網戸本体の取外し

①網戸本体の収納枠に両手をかけ収納側B方向に引っ張るとアンカープレートから収納枠が外れます。このとき、網戸本体をレールから少し浮かせて、左右どちらかの方向へひねると容易に取外すことができます。

②網戸本体を斜めにして上枠から取外します。(図3-1参照)

補足

●網戸が2枚建・3枚建の場合は、本体連結部を取外してから上枠から取外します。

(2)網戸本体の取付け

①取外しと同じように網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れ、本体をレールに接触させながら収納枠をアンカープレートに「パチン」と音がするまで押しつけると溝とアンカープレートが接合し固定されます。(図3-1参照)

注意

●網戸本体に貼ってある「上側」シールを上にして建込んでください。(図3-2参照)

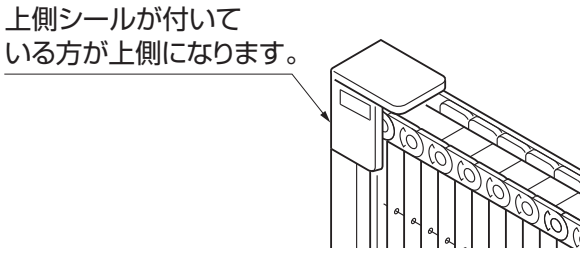


図3-2　A部詳細図

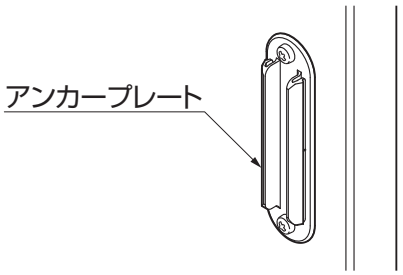


図3-3　B部詳細図

補足

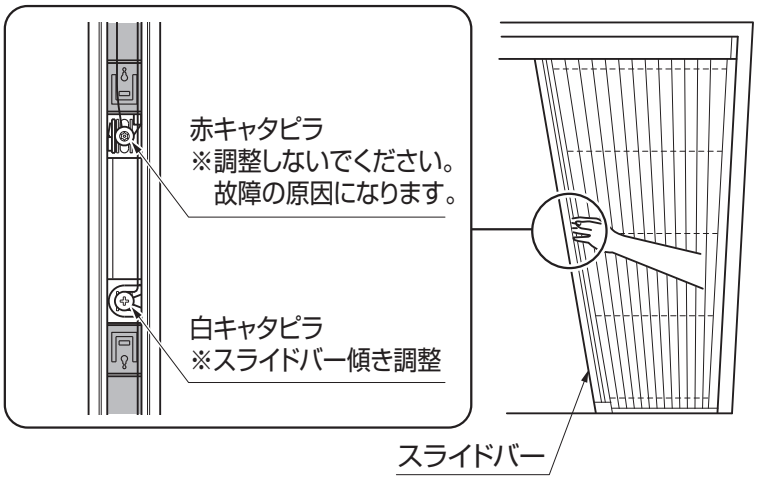
●網戸が2枚建・3枚建の場合は、召合せ側の本体（マグネットが付いている本体）から先に、上枠キャップより挿入してください。その後、もう一方の本体を挿入し、本体どうしを連結させてください。(手順を間違えると、連結できなくなります。)

注意

●網戸本体を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。(図3-1、図3-3参照)

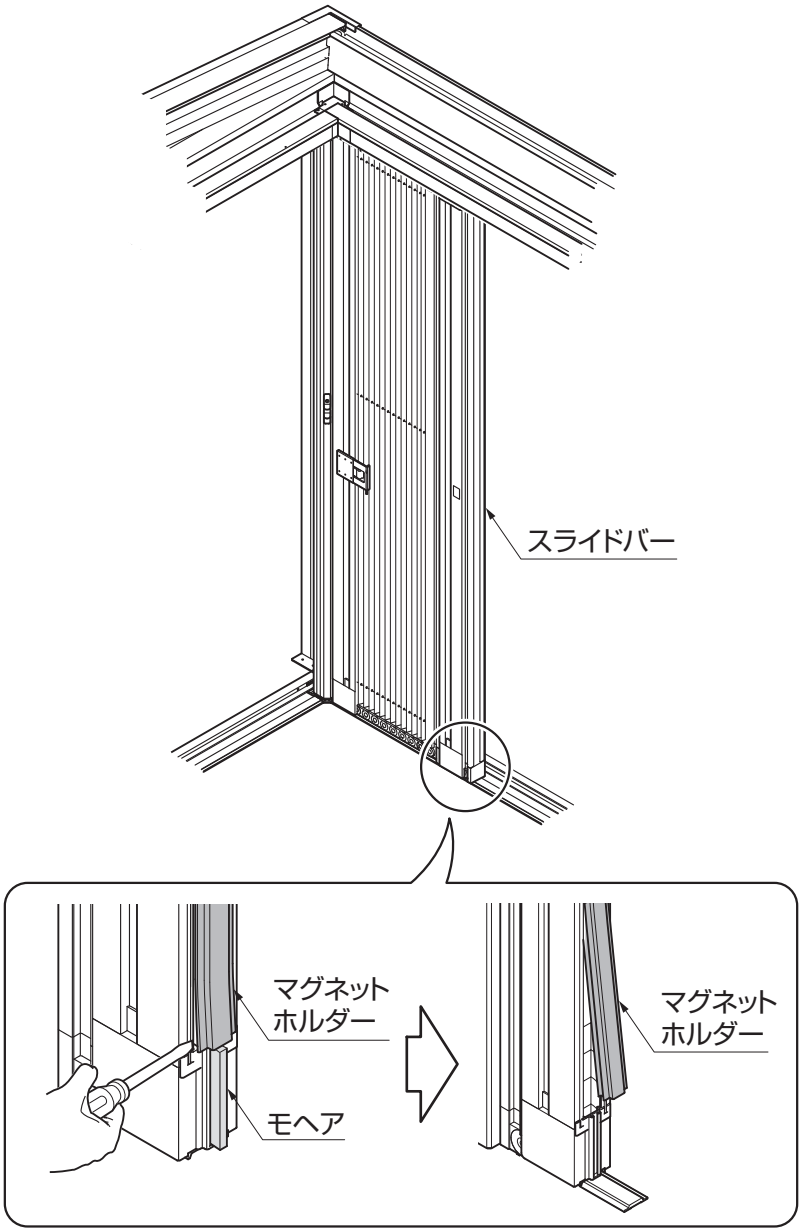
3 - 4 網戸調整方法

（1）網戸 戸当り部にすき間ができる場合



補 足

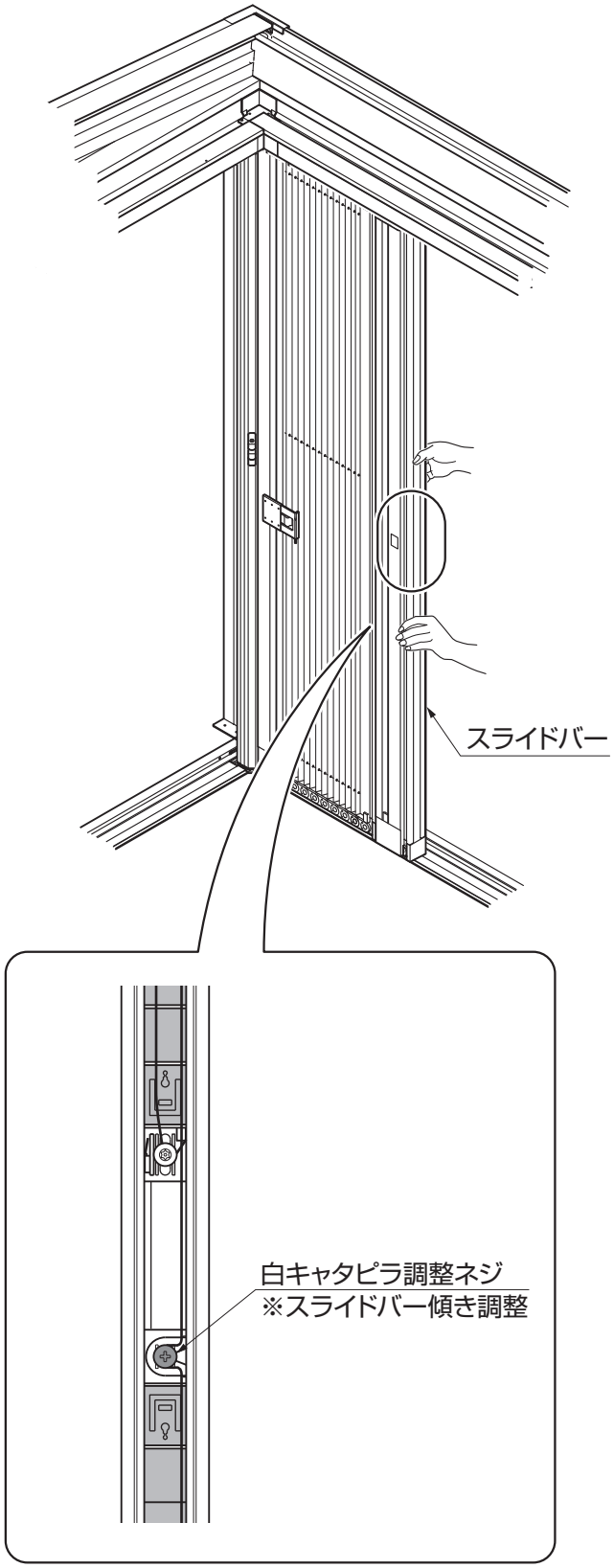
- ●スライドバーの建付け調整ネジは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。
- ●マグネットホルダー内のマグネットには向きがあります。元に戻す際に向きを間違えないためにテープなどで印をしておくことをお勧めします。



①マグネットホルダー下部とモヘヤの間にマイナスドライバー差込んでください。

②そのままマイナスドライバーを持ち上げて、マグネットホルダーをスライドバーから取外してください。

③マグネットホルダーの外れた部分を持って、下から引きはがすように、上まで全部取外してください。



④白キャタピラネジを緩めてください。

⑤スライドバーの上下を持って傾きを調整してください。

⑥白キャタピラネジを締めてください。

お願い

●ネジは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとネジが破損する場合があります。

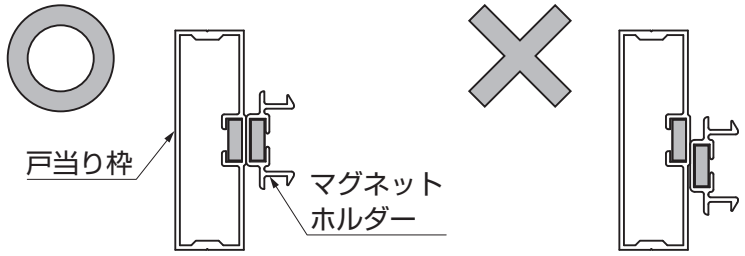


図3-1　片引きの場合

⑦マグネットホルダーが戸当り枠（片引き仕様）もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

補足

●図3-1の戸当り枠は暖蘭物語の場合です。ジーマ、ココマの場合も戸当り枠の形状は異なりますが、同様です。

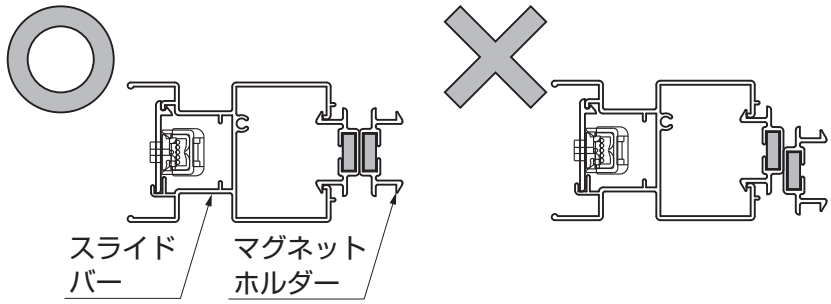


図3-2　引き分けの場合

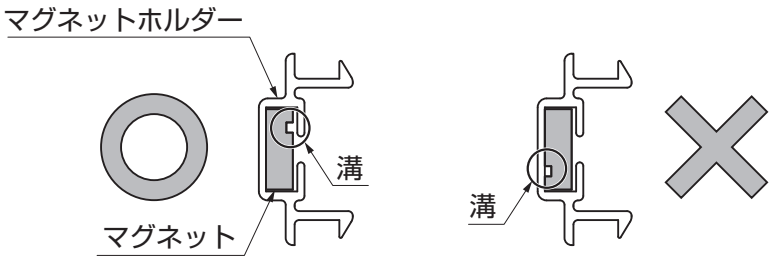


図3-3　片引きの場合

補足

●図3-1、図3-2のようにマグネットホルダーがズレて固定される場合は、マグネットの溝を図3-3、図3-4の通りにしてください。

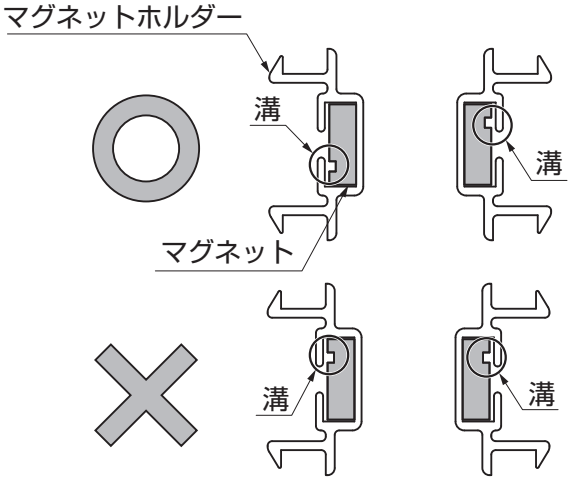


図3-4　引き分けの場合

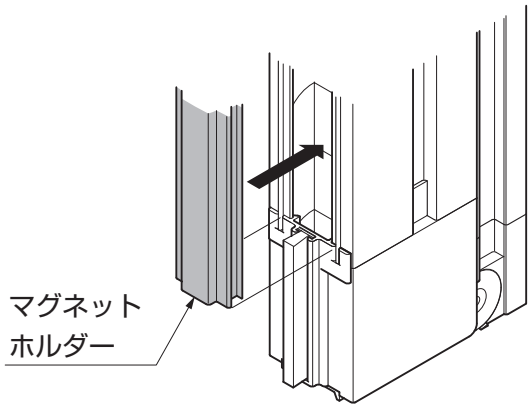


図3-5　マグネットホルダーの取付け

⑧すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けます。(図3-5参照)

補 足

- ●マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
- ●下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けます。

(2)キャタピラが外れてしまった場合

図3-6　網戸上部のキャタピラの向き

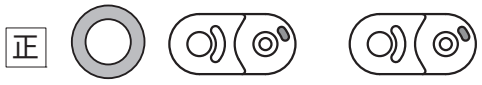


図3-7　網戸下部のキャタピラの向き

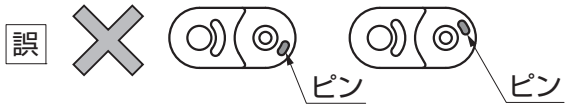


図3-8

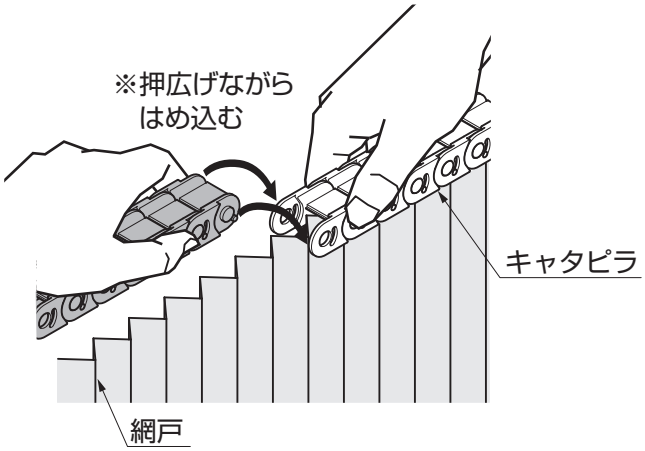


図3-9　キャタピラのはめ方

①キャタピラが外れてしまった場合には、図3-6、図3-7、図3-8を参照してキャタピラの向きに注意しながらはめ込みます。

補 足

- ●はめ込むときは、図3-9のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

3-5 製品のお願い

お願い

●レールに強い衝撃を与えたり硬いものを当てないでください。レールが変形し、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。
●レールの上やレールの周りの小石、砂、ほこり等は取除いてください。
部品の磨耗、損傷を起こすおそれがあります。
●油などの潤滑材は使用しないでください。ほこり等が付着し、作動不良になるおそれがあります。
●網戸の近くで火を燃やしたり、加熱しないでください。網戸が溶けたり変形するおそれがあります。
●スライドバーに把手や錠をネジ止めしないでください。ネジがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。
●スライドバーを持上げながら開閉しないでください。網戸がレールからはずれてしまうおそれがあります。
●上枠中央付近でスライドバーを止めたまま長時間放置しないでください。上枠内の部品が変形して操作不良になるおそれがあります。
●網戸本体は分解、改造しないでください。網戸が破損したり、正しく組みなおすことができなくなります。
●網戸を取付ける際は上下を確認し、正しく取付けを行なってください。
無理に取付けようとすると破損の原因になります。
●網戸の近くに物を吊るさないでください。強風時や開閉時に網戸にぶつかり、破損の原因になります。

4　お手入れについて

補 足

●本製品は網戸を外して丸洗いできます。

(1) 網戸パネルの清掃

①水洗いする場合は、スポンジ、毛先の柔らかいブラシ等でワイヤーを引っ掛けないように洗ってください。 網をいためるおそれがあるたわし等の器具は使用しないでください。

②汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お 願 い

●水洗い後は、網戸本体を十分に乾燥させてください。濡れたまま使用すると再びほこり等が付着しやすくなり、開閉が重くなります。

●レール周りの小石・砂・ほこり等がたまりますと、部品の摩擦・損傷を引き起こし、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。こまめに清掃するようにしてください。

●シンナー・ベンジン等の有機溶剤は絶対使用しないでください。

(2) アルミ製品の清掃

●スライドバーや収納枠、上枠、下レールはアルミ製品です。定期的な水洗いによって常にきれいに保てます。

①年に2～3回水洗いをして拭き取ってください。

②汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。

③汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭き取ってください。

お 願 い

●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを用い、金属ブラシや金ベラの使用は避けてください。

●小石や砂などが付着したままこすると、アルミ表面に傷がつきます。あらかじめ取り除いてください。

5　修理を依頼する前に

●故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点　検	処　置
網戸本体が下レールからはずれてしまった	・強風時に使用していませんでしたか。 ・網戸本体に衝撃などの強い力を与えませんでしたか。	網戸本体を下レールの上に手で戻してください。
網がキャタピラからはずれてしまった	強風時に使用していませんでしたか。	キャタピラから外れた箇所の網を手で戻してください。
開け閉めがしにくい	網戸パネルの底部に砂やゴミがつまっていませんか。 下レールに砂やゴミがたまっていませんか。	網戸パネルを取りはずし、下レールおよび網戸パネルの底部（図5-1 A部）を清掃してください。
異音が発生した	網戸パネルの底部が汚れていませんか。	網戸パネルを取りはずし、網戸パネルの底部（図5-1 A部）を清掃してください。

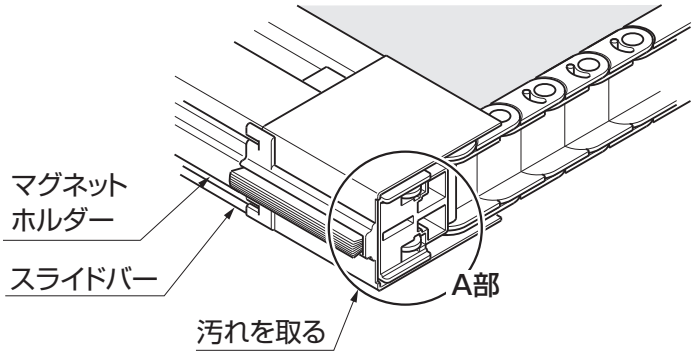


図5-1　網戸パネル下部の清掃

6　修 理

●網が破損し、使用に支障をきたす場合、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、TOEX「お客様相談室」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご　氏　名	
製　品　名		ご　住　所	
施　工　日	年　月　日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ　の　他	

●消耗品は寿命があり、有償修理となります。

メモページ

TOEX

収納網戸　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し木材部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

1. 保証者
東洋エクステリア株式会社
2011年4月1日より「株式会社LIXIL」

2. 保証の対象者
当該商品の所有者

3. 対象商品
TOEXブランドで販売しているエクステリア商品

4. 保証内容
取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

5. 保証期間
当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。

6. 免責事項
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。
②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。
⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。
⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

——お客様相談室——
0120-171-705

取説コード
UE083
JZZ621919
201101A_1039